

学年	高校2年	教科	国語	科目	現代文B	単位数	3
教科書名	精選 現代文B 改訂版 (大修館書店)			副教材名	大学入試国語頻出問題 1200 (いいずな書店)、三訂版プログレス現代文総演習基本編 (いいずな書店)、読解現代文必携キーワードの卵 (尚文出版)、改訂増補版最新国語便覧 (浜島書店)		
クラス・コース	スポーツ・芸能コース スポーツ・芸能クラス			担当者名	石橋 要		

I. 目標

近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語力の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。

II. 授業のねらい

- 1 文章を読んで、構成、展開、要旨などを的確にとらえ、その論理性を評価する。
- 2 文章を読んで、書き手の意図や、人物、情景、心情の描写などを的確にとらえ、表現を味わう。
- 3 文章を読んで批評することを通して、人間、社会、自然などについて自分の考えを深めたり発展させたりする。
- 4 目的や課題に応じて、収集した様々な情報を分析、整理して資料を作成し、自分の考えを効果的に表現する。
- 5 語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色をとらえ、自分の表現や推敲に役立てる。

III. 授業の進め方

- 1 文章内容の理解を主とし、発問形式による教授方法やグループ学習によって学習を進める。
- 2 講義形式・AL・電子黒板・ICTなど聴覚・視覚に訴えるよう、様々なツールを活用する。
- 3 評論分野では作品の構成と展開を的確に理解し、小説分野では作品の主題を読み取ることを前提とする。
- 4 基礎学力到達度テスト対策のための演習を適宜取り入れる。
- 5 小テストなど実力を確認できるものを随時取り入れていく。

IV. 学習上の留意点

- 1 教科書の新しい単元に入る際は、予習として意味調べや作品の通読を行うこと。
- 2 授業中には、板書されたことや必要な情報をノートに書き、また積極的に意見などの発言をすること。
- 3 わからない点はそのままにせず、質問や調べることで解決をするように努めること。
- 4 配られた資料、小テストの解答用紙、定期試験の問題用紙・解答用紙は国語ファイルで管理すること。
- 5 毎時教科書、ノート、副教材、iPadを授業前に準備し、机の上に置いておくこと。
- 6 小テストを実施するため、事前学習に励むこと (学期ごとに予定表を配付)。

V. 定期試験 (状況によって変動する場合がある)

- ・一学期中間試験……対話の精神、山月記、語句、初見問題
- ・一学期期末試験……山月記、永訣の朝、語句、初見問題
- ・二学期中間試験……食べ物「はかる」、山椒魚、語句、初見問題
- ・二学期期末試験……小説『こころ』、語句、初見問題
- ・学年末試験……敬語への自覚、他者への自覚、生命情報・社会情報・機械情報、語句、初見問題

VI. 評価の方法

- 1 定期試験・進研模試・スタサプ…授業内容をしっかりと理解し、それを応用することができる。
- 2 小テスト…計画的に自学自習を行い、意欲的に小テストに臨むことができる。
- 3 提出物…積極的に授業に参加し、課題に対して期限を守り、真摯に取り組むことができる。

Ⅶ. 授業計画

学期	月	単元・学習項目	評価方法	到達目標
一学期	4	評論「対話の精神」	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験 ・進研模試 ・スタサブ ・小テスト ・提出物 	<ul style="list-style-type: none"> ・「会話」と「対話」の対比などを手掛かりにして筆者の主張を読み取り、対話的な精神の重要性をとらえる。 ・読み取ったことをふまえ、テーマを決めて他者と「対話」をする。 ・漢文調の文体や寓意的な表現に注意しながら内容をとらえ、描かれた人物、情景、心情などを読み味わう。特に、自分と「自己」との関係について考える。 ・ペットの家族化が示す現代社会の様相について読み取る。 ・読み取ったことをふまえて、社会の変化に対する自分の考えをまとめる。 ・詩歌を音読することで、その独特のリズムを味わう。 ・詩歌における技法、表現の特色などを理解する。 ・作者の思想、感情を理解する。 ・詩歌の史的展開の概略を理解する。 ・詩歌を読むおもしろさを体験することによって、詩歌への興味、関心をもつ。
	5	小説「山月記」(前半)		
	6	小説「山月記」(後半) 評論「家族化するペット」		
	7	詩「永訣の朝」 ※基礎学力到達度テスト対策演習		
二学期	9	評論「食べ物をはかる」	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験 ・進研模試 ・スタサブ ・小テスト ・提出物 	<ul style="list-style-type: none"> ・意味段落の働きや具体例を手掛かりに筆者の論点を捉え、「はかる」ことの功罪について考える。 ・「はかる」を表す漢字を用いた熟語について調べたことを発表したり、本文の内容をふまえて考えたことを話し合ったりする。 ・山椒魚や小エビの行動や心理の変化を正確に把握し、寓話的な話のおもしろさを味わう。 ・描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わい、ものの見方、感じ方、考え方を広げたり深めたりする。特に、小説の鑑賞力を培い、おもしろさを味わう。 ・夏目漱石の生涯が小説とどのように関係しているのか、文献や「こころ」以外の小説から考察する。
	10	小説「山椒魚」		
	11	小説「こころ」 ※基礎学力到達度テスト対策演習		
	12			
三学期	1	評論「敬語への自覚、他者への自覚」	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験 ・進研模試 ・小テスト ・提出物 	<ul style="list-style-type: none"> ・論理の展開や要旨を叙述に即して的確にとらえる。 ・「敬語」と「他者への自覚」との関係を論理として読み取り、筆者の主張について、自分の意見をもつ。 ・論理的な文章を叙述に即して読み、論理の展開のしかたや要旨を的確にとらえる。 ・筆者のあげる具体例の内容と、筆者のものの見方、考え方との関係を追究し、評論文の特徴を理解する。 ・情報やメディアに対する理解を深め、書くことや話すことを通して自己や社会に対する認識を深化させる。
	2	評論「生命情報・社会情報・機械情報」		
	3	※基礎学力到達度テスト対策演習		

※ シラバスの内容については、理解度やその他の都合により変更することもあります。